

◆学校教育目標：「いのち」を尊び、共に学び、共に輝き、生命力あふれて生きる「あかいつ子」の育成◆

令和2年度 赤井小学校 令和2年12月4日 NO,13

さくら児童会ゆるキャラ



校長室だより 笑顔



◆さくら児童会スローガン決定！：助け合い 夢に向かって あかいつ子◆

さくらだいくん



アカイ5「赤井小SDGs活動」特集



4年生SDGs活動 大学・企業・市と連携した教育



「スマホの金属が金メダルになります」 「講師の方と記念撮影」

※「SDGs活動？」については、下段の校長講話をお読み下さい。



アカイ5（特色ある教育）の一つにSDGs活動があります。昨年に引き続き4年生が、社会「ごみ処理」の発展学習として、プラスチックゴミの世界的な海洋汚染を知り、リサイクルの重要性を学びました。講師に東北大学、榊ダウケミカル、東松島市役所の方を招いて専門性の高い授業で、子供たちは100年後の地球を考えました。授業の様子はTVにも紹介されました。



いぶき太鼓基金資源回収！感謝！



業者回収日には二中や南小の業務員さんに手伝ってもらうほど、たくさん集まりました。

赤井いぶき太鼓基金の資源回収（昨年からはスタート）を11月に実施し、各家庭からたくさんアルミ缶や新聞紙、段ボール等が回収されました。本来はPTA共催事業でしたがコロナ禍で密集と密接を避けるために平日の4日間、朝の時間に職員が中心に行いました。回収の金額（現在申請中）は基金の会計報告でお知らせします。ご協力ありがとうございました。「捨てればゴミ、生かせば資源」ですね。



12月2日（水）朝会の話「環境絵日記とSDGs活動」

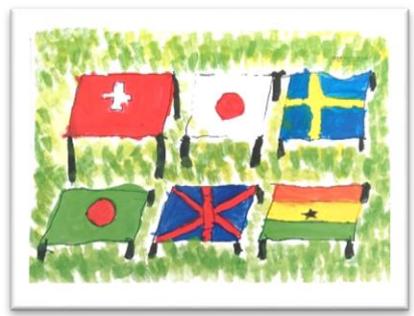
東松島市環境絵日記コンクールで本校の児童3名が受賞して、環境絵日記カレンダーに掲載されました。今回はその絵日記を紹介しながら、赤井小SDGs活動について話して、自分ができることを考えてもらいました。3人の絵日記を紹介します。



市長賞 畠山大冴さん（3年）



教育長特別賞 長坂良夢さん（5年）



環境エネルギー賞 長坂良伊さん（1年）

<校長講話> 12月のお話は、今、表彰した環境絵日記とSDG s活動のお話です。

これは1年生の長坂良伊(ろい)さんが、描いた絵日記です。題名は「未来のソーラーパネル」です。良伊さんはこのように説明しています。『僕は車でドライブをしたとき、黒い四角がいっぱい並んでいました。お兄さんに聞くと「ソーラーパネルだよ。電気を作っているんだよ。」と教えてくれました。僕はソーラーパネルが世界の国旗になったら素敵だなと思いました。』太陽の光を活用したソーラーパネルで電気を作ると、地球を破壊する悪い物質は出ません。とても自然にいいことです。

この絵日記は環境絵日記カレンダーとして、写真のように立派なカレンダーになりました。このカレンダーをよく見るとオレンジ色のアイコンがあります。大きくして見ると太陽マークの中にスイッチが描いてあります。そして「7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」と書いてあります。「地球にやさしいエネルギーを世界中に広げよう」とすることを伝えています。このアイコンはSDG s活動のアイコンです。SDG sとは、100年、200年たっても地球が美しく平和な星であり続けるために、取り組む17の目標の事です。東松島市ではこの地球を守るSDG s活動に取り組んでいます。そして赤井小学校でも4年生が中心に取り組んでいます。良伊さんの描いた絵日記は、きれいなエネルギーで地球を守ろうというメッセージです。



次に、3年生 島山大冴(だいご)さんの絵日記を紹介します。題名は「ゴミとり潜水艇」です。大冴さんの説明にはこう書いてあります。『これは海の中を掃除する船です。アームは空き缶やタイヤなどを回収します。網はアームで回収できない袋やジュースのゴミを回収します。後ろのスコップは土に埋まっているゴミを掘り出します。この潜水艇のおかげで海がきれいになります。』すごいアイデアですね。

この素敵な環境絵日記には、3つのアイコンが付いています。目標12のアイコンを見ると「つくる責任・つかう責任」と書いてあります。これは「たくさん作りすぎると残りはゴミになります。使う人も最後まで使わないとゴミになります。最後まで責任を持ちましょう。」という目標です。大冴さんの絵日記は、海をキレイにするだけではなく、使ったものは資源として生かそうというメッセージです。まさにSDG s活動です。



最後は5年生、長坂良夢(らむ)さんの絵日記です。題名は「きたない海におこっている蟹」です。良夢さんの説明にはこう書いてあります。『家族と海へ行ったとき、砂浜は汚い浮きや使い捨てマスクなどが落ちていて、岩場はゴム手袋や金属が燃えて真っ黒焦げでした。そこで僕は怒っている甲羅になった蟹を見つけました。この蟹はきつと汚い海になったから怒った顔の甲羅になったと思いました。にっこり笑った甲羅の蟹が増えることを考えて、ゴミ拾いをして帰ります。』この素敵な絵日記には、二つのアイコンが付いています。これは目標14で「海を汚すと魚や海藻など海にすむ生き物が生きていけません。海の豊かさを守ろう。」という目標です。大冴さんのカレンダーにもこのアイコンが付いていました。良夢さんの絵日記は、ごみのポイ捨てはやめて、大切な海や自然を守ろうというメッセージです。これもSDG s活動です。



では、今度は赤井小学校に目を向けてみましょう。去年から4年生が中心に東松島市の小学校としてSDG sの活動に取り組んでいます。今年も4年生がプラスチックをリサイクルすることで環境を守ることを大学の先生や企業、市役所の方から学びました。

この写真はラグビー日本代表のマークが入ったネックウォーマーです。元々はプラスチックだそうです。企業から4年生全員がいただきました。そう考えると学校でやっているいぶき太鼓のための資源回収も立派なSDG s活動です。



まとめの話をします。校長先生から伝えたいことは、何かすごいことをして欲しいのではないのです。「いらぬものは買わない」、「ゴミはポイ捨てをしない」、「給食を残さず食べる」など、普段の生活のちょっとしたことを今から変えることです。それが住みよい暮らしを作ること、そして、皆さんが生きる10年後、100年後の地球を守ることです。地球を守ることは、つまり、自分と自分の家族、そしてこれから生まれてくるたくさんの命、人や動物、植物、自然を守ることになります。SDG sの17の目標をこれからの生活にぜひ生かしてください。今度、学校で取り組む目標を決めたいと思います。

今日お話した3人の環境絵日記とSDG sの17の目標についてのポスターを校長室前に掲示しておきますので、今日勉強した3つのアイコン以外の残りの14のアイコンの目標は何か?見て下さい。そして、できることに取り組んでください。校長先生からのお願いです。

12月は一年のまとめの月です。挨拶が上手な赤井っ子の皆さん、学習に、運動に笑顔でがんばりましょう。

【小さくて読みづらい紙面になってしまいました。申し訳ありません。お子さんのSDG s活動にご家庭でもアドバイスをお願いします。】